

# 令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年 12月24日

協議会名：茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
小湊鐵道株式会社	<p>市民バス「モバス」 南部(鶴枝)コース 系統: 茂原駅～三ヶ谷神社～ 茂原駅(20.9km) 運行回数: 5便/日</p> <p>南部(五郷)コース 系統: 茂原駅～石神集会所～ 茂原駅(12.1km) 運行回数: 4便/日</p> <p>運賃: 200円(障害者手帳所持者、その介助者、運転経歴証明書所持者、小学生は100円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き利用促進の取り組みを進めていただきたいと評価結果を受け、「茂原市交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道駅等に配布するとともに、商業施設にご協力いただき、入口付近に配置することで、さらなる周知を図った。また、広報「もばら」に市民バス「モバス」の利用方法等に関する記事を掲載し周知を図った。</li> <li>・利用促進のため市民バス「モバス」の各コースの乗降者数等の分析をし、状況把握に努めた。</li> </ul>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C</p> <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標: 利用者数100人/日以上 実績: 73.8人/日 分析: 前事業年度より増加したものとの、目標値には程遠く、利用者を増やすため利用者ニーズの把握に努めたい。</p> <p>事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった。 目標: 利用登録者数950人以上 実績: 902人 分析: 周知が行き届き、順調に伸びているが、目標値には及ばなかった。 目標: 利用者数10人/日以上 実績: 11.3人/日 分析: 通院、買い物等の移動手段として利用されており、目標値を達成した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各コースの利用状況を把握し、現コースの変更や新規コースの創設について検討する。</li> <li>・運賃収入以外の収入源の確保のため、引き続き市民バスの車体等に、有料広告を募集し掲載を行う。</li> <li>・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。</li> <li>・転入者に交通マップの配布を行い、公共交通の周知を図る。</li> </ul>
都自動車株式会社	<p>デマンド交通「ふれあい」 運行区域: 市内北西エリア 運行日: 月・水・金曜(祝休日・年末年始運休) 運行本数: 8便/日(8時、9時、10時、11時、13時、14時、15時、16時) 運賃: 400円(障害者手帳所持者、その介助者、運転経歴証明書所持者、小学生は200円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き利用促進の取り組みを進めていただきたいと評価結果を受け、「茂原市交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道駅等に配布するとともに、商業施設にご協力いただき、入口付近に配置することで、さらなる周知を図った。また、広報「もばら」にデマンド交通「ふれあい」の利用方法等に関する記事を掲載し周知を図った。</li> <li>・利用促進のため、デマンド交通「ふれあい」利用者の地区別割合や行き先等の分析をし、状況把握に努めた。</li> </ul>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用需要の高い高齢者を中心とした利用促進策を講じて、利用者の拡大に努める。</li> <li>・さらなる利用促進を図るために、エリア拡大について検討する。</li> <li>・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。</li> <li>・転入者に交通マップの配布を行い、公共交通の周知を図る。</li> <li>・エリア内の住民にデマンド交通の利用案内を配布し、周知を図る。</li> </ul>